



0法人と市民活動団体のための 個別サポート

経過報告

エントリーされた団体から、審査を経て選ばれた5団体のサポートを実施しています。それぞれが抱える課題は「法人間連携」「資金調達」「事業運営の見直し」「新事業の検討」とさまざまです。これらの課題を専門家と一緒に面談を重ね、解決に向けて伴走支援していきます。

事業内容 専門家

NPO法人Teamプレイズ

障害や特性のある子ども達のサッカークラブ

高橋先生（中小企業診断士）

NPO法人ココスマ

子育て世代・お年寄り対象の多世代交流、お年寄りの見守り事業

高橋先生（中小企業診断士）

NPO法人カリネ

居住の確保に課題を抱える方（低額所得者、被災者、高齢の方、障害のある方、外国人等）の住宅情報の提供・相談

石井先生（中小企業診断士）

NPO法人ピュアフレンズ

高齢の方の介護福祉事業、環境再事業、海外や宮古島の水の環境再生活動

下山先生（中小企業診断士）

NPO法人からだところのスクール

チャレンジ教室、運動指導者対象の講習会開催やアドバイザー、地域出前講座

下山先生（中小企業診断士）

団体と専門家との面談の様子



個別サポート成果報告会 & 交流会

2026年3月開催予定！

一般参加も可能です



寄付月間とは？

寄付月間（Giving December）は、平成27年から始まった全国的な寄付啓発キャンペーンです。「欲しい未来へ、寄付を贈ろう」をコンセプトに、12月の1か月間、寄付について考え行動する機会を広げています。堺市は賛同パートナーとして参加し、寄付文化の促進に取り組んでいます。

12月 寄付月間です

さまざまな寄付のかたち

寄付にはさまざまな方法があります。

- ♥ 金銭の寄付
- ♥ 遺贈・相続財産の寄付
- ♥ 物品の寄付
- ♥ ふるさと納税
- ♥ 寄付型クラウドファンディング
- ♥ 募金サイトの寄付
- ♥ ボランティア・**プロボノ**※による寄付

※「プロボノ」

金銭だけではなく、スキルなどを無償で提供する「寄付」のことです。

皆さんの団体の場合、「どんな支援が必要か」「どんな応援を受け入れることができるか」を整理してみましょう。

たとえば・・・

- ☒（物品の寄付）子ども食堂で使える未使用の食材を受け入れている
- ☒（ボランティアによる寄付）イベント運営のボランティアを募集している
- ☒（金銭の寄付）継続的な寄付がほしいのでマンスリーサポーターを歓迎している
- ☒（プロボノによる寄付）イベントチラシを作ってくれる人を募集している

など、団体の活動内容に合った支援方法や受け入れの形があるはずです。

それぞれの支援方法に合わせて、わかりやすく伝える工夫も大切です。ウェブサイトやSNS、チラシ、情報紙への掲載などで「支援したい方へ/こんな支援を求めています/こんな方法で応援ができますよ」と具体的に伝えることで、寄付者の協力につながりやすくなります。

多様な寄付のかたちを知り、自団体に合った応援の受け方を考え、伝え方を工夫することで、より多くの支援につながる可能性が広がります。

堺市では、堺市市民活動支援基金を設置し、地域でがんばる市民活動団体等を応援しています。
身近なまちづくりを、あなたの手で支えてみませんか。

寄付の中でも近年特に注目されているのがクラウドファンディングです。昨年度当コーナーで実施した「クラウドファンディング講座」の講師であった小西さんに詳しいお話をお聞きしました。



小西光治さん
スバキリ商店株式会社

スバキリ商店株式会社ではこれまで1400件以上のクラウドファンディングをプロデュースしています。多くのクラウドファンディングをプロデュースしていると「クラウドファンディングを達成させるために何をしたらいいですか？」ということをよく訊かれます。実はこれはやっておいた方がいいという3つのポイントがあるので、そちらを紹介します！

クラウドファンディングで成功するために欠かせないのは、「運」でも「偶然」でもありません。確実に結果を出す人には共通点があります。それが「目標設定」「スタートダッシュ」「継続的な発信」の3つです。

まず「目標設定」。多くの人が高い金額を設定しがちですが、最初は低めの目標から始めるのが鉄則です。達成するとサイト上で上位表示され、閲覧数が増え、さらに支援が集まる好循環が生まれます。

次に「スタートダッシュ」。初日で目標の20%以上を集められると、勢いがつき上位表示されやすくなります。そのためには事前告知や関係者への呼びかけが鍵です。

最後に「継続的な発信」。プロジェクトの進捗や想いをSNSや活動報告で発信し続けることで、PV数（ページビュー数：ウェブページが閲覧された回数）を維持し支援者の関心を保ちます。

この3つを意識して動くだけで、クラウドファンディングの成功率は格段に上がります。準備と継続こそが、達成への最短ルートです。

詳しくは、堺市ホームページから

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/chiiki/npo/shienkikin/shienkikin.html>



市民活動団体等の

★New★
新コーナー!

活動紹介



今回は、パソコンボランティアWing 吉田恵子さんにお話をうかがいました。

活動紹介

2011年5月設立。大阪いずみ市民生協のパソコン教室にて、シニア層の初心者を中心に丁寧で理解しやすい学びの場を提供していたが、同教室が閉講するタイミングで、受講者からの教室継続の要望に応えるために4名の講師陣でスタートした。現在はシニア層を中心にスマホの基本操作やタブレットを活用した脳トレなど、生活に役立つ実践的な講座を開催している。Wingの講座における最大の特徴は、単なる機器の操作性や技術習得ではなく、情報モラル、セキュリティ、システムのアップデート、ウィルス感染など、予期せぬトラブルへの対応などを学べる講座が充実していることである。講習会では受講者に寄り添い、円滑なコミュニケーションから安心感と信頼関係が構築されている。その結果「受講者の生の声」が反映された「生きた講習会」へと進化し続けている。



課題～個別サポート

現在、精力的に活動している同団体にも課題を抱えていた時期があった。2022年頃の活動は、資金不足に陥るといった厳しい状況下にあった。苦しい活動が続く中、堺市市民活動コーナーの「**個別サポート**」※1を受けることが決定した。「個別サポート」では、専門家による分析と助言を受け、課題の抽出や改善点、それまで頭を悩ませていた講習料の設定については市場価格を考慮するだけではなく提供する講習内容の価値から算出する適正価格設定方法など、アドバイスがあった。また、事業内容の棚卸や整理をするなかで山積されていた問題が可視化されていき、活動方針や具体的なターゲットが明確化され、より充実した活動へとつながった。

※1「個別サポート」

自立期・発展期にある市内NPO法人等を対象とする、法人が抱える課題の解決や運営基盤の強化を図るために、中小企業診断士や税理士等、専門家によるコンサルティング等の個別サポートを実施している。



今後の展望

シニア層向けの「**デジタル終活**」※2推進を挙げている。またシニア層への生成AIの活用支援にも力を注ぎたいと話す。自分の課題を言語化するのが苦手な人こそ、テキスト、画像、動画、音声入力などにより、便利で豊かな生活を発見し、それらを実現するためのツールを習得すべきで、講習会を通じて生活に活用できるものを提供したい。操作を覚えるだけでなく、実生活に体験を与えていく。これからも受講者の「それがやりたい」を大切に活動の推進をめざしている。

※2「デジタル終活」

スマホやパソコンのアカウント（権利や個人認証情報）、パスワードなどデジタルに関わるデータ管理のことである。生前に資産内容、保険、遺品整理などの項目を洗い出す「エンディングノート」とは異なる。親族へのデジタル終活情報の伝達が行わなければ、サブスクリプション（月額や年額といった定額料金を支払うことで一定期間、商品やサービスを利用できる仕組み）の解約などもできず、サービス料の口座引落なども停止できない状況が発生する可能性がある。

パソコンボランティアWing
および教室についての

お問い合わせ



pc_wing_yoshida@khh.biglobe.ne.jp



LINE



- 1対1になり、相手に自分のことを伝えるグループワークが印象に残りました。
- とても良かったです！藪田先生のお話を聞くと、私でも動けることがあるように感じ、少しずつ実行してみようと考えています。
- 講師の先生との距離も近く、楽しく学ばせて頂きました。
- とても豊かな時間でした！ぜひ第二弾を企画して頂きたいです。



NPO法人・市民活動団体にとって、話し合いのスキルは大切です。今回の講座では、集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を支援し促進していくファシリテーターのスキルをワークショップで体験し、参加者同士のコミュニケーション力もアップすることができました。ファシリテーションにはさまざまなスキルがあり1時間半の講座では学びきることができませんが、中でも重要な「傾聴」「見える化」のコツを確認しました。講座終了後には、更に深い内容のファシリテーション講座についての質問もあり、活動に活かされる有意義な時間となりました。

交流の場では、自団体の紹介や講座の感想を共有し合い、参加者それぞれの取組への思いなどを語り合うことができました。また、今後の学びや活動についての情報交換も行いました。



ファシリテーションの情報や問い合わせ
日本ファシリテーション協会<https://www.faj.or.jp/>



助成金情報



最新の助成金情報やセミナー情報などを月2回メール配信しています。
詳しくは、二次元コードよりご確認ください。

第27回 社会貢献基金助成

実施団体	一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
関連URL	https://www.zengokyo.or.jp/social/fund/support/
内容/対象	高齢の方・障害者福祉事業、児童福祉事業、環境・文化財保全事業、地域つながり事業に対して助成/非営利組織
募集期限	2026年1月31日必着
助成限度額	1件あたり上限200万円

01



Y's×SDGs Youth Action 2026

実施団体	一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区/ワイズメンズクラブ国際協会西日本区/公益財団法人日本YMCA同盟
関連URL	https://sites.google.com/japanymca.org/youth-action2022
内容/対象	SDGsを踏まえて、各地域における社会課題を、その地域の未来を担うユース自らが気づき、考え、解決に向けた活動(Action)/ワイズメンズクラブ関係者、YMCA関係者、一般、企業、団体等3名以上のユース世代の任意チームで誰でも応募可能（ユース世代=高校生～35歳）
募集期限	2026年2月10日
助成限度額	1件あたり上限20万円

02



堺市市民活動コーナー

市民活動の活性化を図る事を目的として、NPO法人・市民活動団体等に対し相談や情報提供等を行っております。

〒590-0078 堺市堺区南瓦町2番1号
072-228-8348
072-228-8352
sakai-npo@fancy.ocn.ne.jp
ホームページは二次元コードから >>>



発行 堺市市民人権局市民生活部生涯学習課
企画編集 認定NPO法人大阪NPOセンター
発行日 2025年12月1日
利用時間 月・水～金 9:00～17:30
土 10:00～17:00
※火・日・祝・年末年始除く

相談に応じて、会計、労務、事業計画等の各分野における専門家（公認会計士・社労士等）相談も随時実施しています